

# 下関工場

## 世界最大級のタイヤを生み出す 建設・鉱山車両用タイヤ専門工場

操業開始 1970年6月（国内タイヤ工場として5番目に操業開始）

敷地面積 264,000m<sup>2</sup>

生産品目 建設・鉱山車両用大型・大型タイヤ



①事務所 ②バンパリー棟 ③第1工場 ④第2工場 ⑤第3工場

⑥製品倉庫 ⑦体育文化センター ⑧物流センター

### 世界での需要拡大に対応

建設・鉱山車両用大型・超大型タイヤの専門工場である下関工場は1970年、国内で5番目のタイヤ工場として操業を開始しました。建設・鉱山車両用大型・超大型タイヤは、鉱物、エネルギーの需要が世界規模で増えていることなどを背景に、需要拡大が継続しており、下関工場では世界のお客様のニーズに応えられるよう努めています。

### 世界最大級のタイヤはここで生まれる

下関工場では、世界最大級となる外径約4m、幅約1.5m、重量約5.5tの世界最大級のタイヤも生産しています。これは露天掘り鉱山で活躍する400tダンプトラックに装着されるものです。こうした超大型建設・鉱山車両用タイヤの生産には高度な生産技術や、大型特殊設備を要するため、生産を行う工場は世界でも限られています。



露天掘り鉱山で活躍する  
超大型建設・鉱山車両用タイヤ



世界最大級のタイヤ  
(外径約4m)

### 港に隣接する立地

下関工場で生産されるタイヤは非常に大型であるため、トラックなどによる陸上輸送が困難です。また、ここで生産されたタイヤのほとんどは海外（アメリカ、オーストラリア、ロシア、中南米、アフリカなど）に輸出されています。そのため、下関工場は港に隣接する立地となっており、製品の大半は工場から直接船積みされ、輸出されています。



工場に隣接する港から輸出

### 環境に配慮した工場を目指して

ブリヂストンは、国内の多くのタイヤ工場にコ・ジェネレーションシステム（注）を導入しており、下関工場には2004年8月に導入しました。このシステムは、7260kW/hの電力と蒸気を工場に供給し、熱効率を良くしてCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことで、地球温暖化防止に貢献しています。ブリヂストンは、環境保全を企業経営の重要な課題の一つと位置付け、環境に配慮した工場づくりを行っています。

（注）1つの燃料から電気や熱などの2つ以上の有効なエネルギーを発生させるシステム。ブリヂストンでは、発電時に発生する廃熱を利用して蒸気を発生させて、エネルギーを効率的に利用しています。



下関工場 コ・ジェネレーションシステム

### 地域社会の一員として

下関工場では、市民の皆様が親しめる森づくりの推進を図る、「エコピアの森 下関」の活動に2010年から取り組んでいます。

下関市と山口県西部森林組合と協力し、森林整備のボランティア活動及び森林教室等を開催しています。

また、地域に開かれた工場を目指して、工場構内の体育館を開放するほか、毎年開催する秋祭りでは工場見学会も実施しています。

ほかにも海岸の清掃や、「ブリヂストン吹奏楽団久留米」によるチャリティーコンサートの開催とその収益金の寄付などを通じて、地域との積極的な交流を図っています。



エコピアの森 下関



秋祭り



海岸清掃

## 私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

## 空気圧点検

エアゲージをお持ちでない方は…



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽に立ち寄りください。



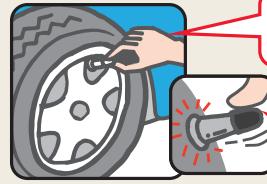
タイヤが冷えているのを確認してから走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



**エアゲージ**  
ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



**石鹼水**  
石鹼水をつけて、バルブからの空気の漏れがないか確認します。



**バルブキャップ**  
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかりと締め直しましょう。

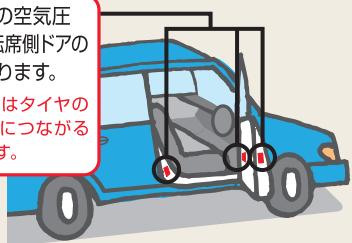
バルブキャップはシッカリと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック!

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。

空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに!

## チッ素ガスのお薦め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。  
チッ素は空気に比べてこの“自然低下”を抑えることができます。

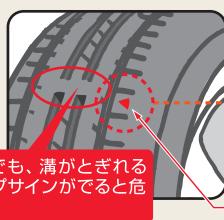
## チッ素ガス充填のメリット

- ① 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- ② 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



## タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



1ヶ所でも、溝がとぎれるスリップサインができると危険です

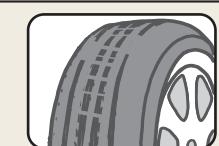
拡大図



残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを設けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

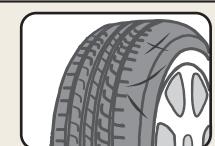
これがスリップサイン表示マークです

## タイヤチェック、3つのポイント



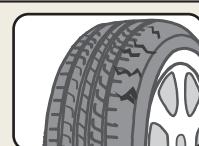
①ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



②キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



③ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正值より50kPa(0.5kg/cm<sup>2</sup>)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。<sup>※1</sup>

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして燃費=10km/l、ガソリン代=146円/l<sup>※2</sup>で

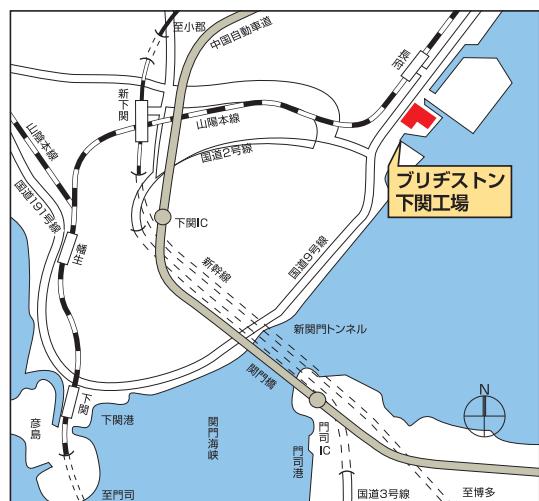
なんと ガソリン代 約3,500円/年の損失<sup>※3</sup>

更に CO<sub>2</sub>排出量も増加します。

出典 / ※1: (社)日本自動車工業会

※2: 石油情報センター-2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3:(社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算



当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bridgestone.co.jp>

株式会社ブリヂストン

下関工場

山口県下関市長府港町3-1 〒752-0953

電話 (083) 245-1251

下関工場／山陽新幹線 新下関駅下車 タクシー約20分

山陽本線 長府駅下車 徒歩約10分